

表敬訪問

応援をありがとう × 感動をありがとう

中村選手

本当にたくさんの応援とサポートをありがとうございました。我孫子からのメッセージも多く届き、次の試合も頑張ろうという気持ちになりました。

ワールドカップで活躍する夢は一部かありませんでしたが、まだ夢の途中。4年後必ずリベンジしたいと思います。これからも支えていただけたらうれしいです。



星野市長

中村選手のゴールやアシスト、走り続ける姿にみんなが感動しました。「身近な先輩」が、雲の上の存在のような日本代表に選ばれ活躍する姿は、子どもたちにとって夢や希望、努力する大切さを感じるきっかけになります。ぜひけがに気を付けて、4年後も活躍してほしい。さらなる飛躍を期待しています。

インタビュー

——初めてのワールドカップ、アメリカのダラススタジアムのピッチに立った時、どんな気持ちでしたか？

最初はすごく緊張しました。特に初戦(オランダ戦)の前半は硬さがあったと思います。ただ、ピッチでボールを触っているうちに、自然と緊張は解けていきました。プレー中は点を取りにいかなくしゃいけな状況もあって、自分の攻撃的な持ち味を出せるようになり、2・3戦目はいつも通りに近い感覚でプレーできたと思います。

——一番印象に残っている場面はどこですか？

個人的には、オランダ戦のゴールが一番うれしかったです。ゴールという結果も含めて、一番印象に残っています。

——我孫子市では広報紙での特集や、パブリックビューイング、応援メッセージの募集などを行いました。地元からの応援をどう感じましたか？

ワールドカップが始まる前から広報紙やメッセージボードを見たり、パブリックビューイングのことを聞いたりして、本当にうれしかったです。我孫子の仲間たちからの応援は、間違いなく一番大きなパワーになったと思います。

——メッセージボードには4,000枚を超えるメッセージが集まりました。気になったものはありますか？

そんなにあるんですか！すごいな…。「高野山桃山公園での秘密の特訓、木の裏から見ました」。これ面白いですね(笑)。全てのメッセージを見ていたわけではないので、今日改めてたくさんのメッセージを見て「頑張ってたかった」「もっと頑張ろう」と思いました。

——ナイツ・塙さんも中村選手の活躍を喜んでいらっしゃいましたね。

ラジオで話していただいたと聞いて、めっちゃうれしかったです。昨年、市民文化スポーツ栄誉章を受章した時に初めてお会いしました。同じ我孫子出身として一緒に頑張りたいです。

——ワールドカップ出場、そしてゴールを決めるという目標を達成した今、誰に感謝を伝えたいですか？

間違いなく、一番は両親です。小さい頃からずっと支えてもらいました。プロになるまで地元からクラブチームに通っていたので、他の選手より長い間世話になったと感じています。ゴールやアシストする姿を見せられたのは良かったです。

——我孫子で「原点」だと感じる場所がありますか？

それこそ高野山桃山公園ではよく練習していました。あと手賀沼周辺をランニングしていて、近所の方に「頑張って」と声をかけてもらったのがうれしかったです。

——中村選手は幼い頃からサッカーノートなどで目標を言葉にされていた印象があります。中村選手の背中を追いかけている子どもたちへ、目標の立て方や実現するためのアドバイスをいただけますか？

無理やり目標を立てる必要はないと思います。まず「好きなこと」を見つけて、それに熱中して打ち込んでいけば良いと思います。それがいずれ夢や目標につながってきます。あとは、できるだけポジティブな言葉を使うように心掛けています。有言実行という言葉もありますし、「言霊」は信じてるんで。

——ありがとうございました。これからも我孫子市一丸となって、中村選手を応援します。



▲決勝トーナメント・ブラジル戦でピッチを駆ける中村選手



▲メッセージを手に取り、応援を実感する中村選手



▲子どもたちへのメッセージを書いていただきました

【編集後記：取材で印象に残ったこと】 中村選手が、応援してくれた我孫子市民のことを自然に「我孫子の仲間」と表現されたことが一番印象的でした。応援する側・される側ではなく、同じチームの一員として受け止められていることが伝わり、誇らしく思えました。高野山桃山公園や手賀沼公園の話題になると表情が和らぐのも印象的で、中村選手にとってもホッとできる場所なのだと、伝わってきました。皆さんも同じ景色を見に訪れてはいかがでしょうか。